

令和4年度文化芸術による子供育成推進事業一巡回公演事業一

ワークショップ実施計画書

制作団体名	有限会社 貞水企画室
公演団体名	有限会社 貞水企画室

内容

ワークショップ プログラム

講談教室

ワークショップ時間 60分～90分

※児童、生徒さんの状況、学校様のご都合に応じて調整が可能です。

一、講談「三ッ方」～榎屋博幸～
 二、講談の道具説明（数珠と襷9歳）
 三、講談の読み方（語り方）
 四、みんなが「ハッ／ハッ／」 踊り身体験
 五、講談ジャンルクイズ
 六、学校エピソード講談
 七、講談雑学
 八、連続講談（前半）

各項目で知っていただきたい **知識ポイント** を絞り、
講談がどんな芸能なのか？
ワークショップ全体の流れの中で、
講談を知っていただける工夫を施しています

ハッ／ハッ／ハッ／ハッ／ハッ／

講談教室スタート

若手3人が
明るく楽しく進行します！

自己紹介を兼ねて、
それぞれが簡単な講談の一節をアイサツ



**上方
(大阪)**



**江戸
(東京)**



女流

主な出演者

 旭堂南湖	 玉田玉秀香	 田辺凌鶴	 一熊斎真橘	 宝井琴鶴	 一熊斎真寿
 旭堂南龍	 旭堂南岳	 神田山録	 宝井梅湯	 神田蓮花	 田辺いちか

講談はもとより江戸（東京）と上方（大阪）に存在しています。
 また近年では女流講談師が多く活躍するようになり、
 今や全体の半数以上を占めるようになりました。
 それぞれの特徴を生かしながら、賑やかに進行して参ります。

知識ポイント 講談の雰囲気

一、講談「三方ヶ原」～修羅場よみ～

武田信玄の軍が、徳川軍に城に攻めかかるシーン
講談の迫力の語りと、威勢よくパンパンと鳴り響く張り扇。

まずは講談がどんな芸能なのか？

講談の基本である「修羅場よみ」を鑑賞してもらいます。



「修羅場」とは激しい合戦の場面のことです。
講談師は入門すると先ずこの「修羅場よみ」の修行をします。
そこで腹から声を出すことを覚え、声を鍛えます。
そして講談の独特の調子と間の基本を取得するのです。



そして

武芸物（宮本武蔵など）▶

様々なジャンル

と修行は進んでゆきます。

知識ポイント 講談のルーツ、道具、演出法（動き）

二、講談の道具説明（釈台と張り扇）

道具の説明をしながら、講談がどんな芸能なのかを理解してもらいます。



釈台

Q

何で「釈台（しゃくだい）」っていうの？
何のための小机（釈台）？

A

『講談（こうだん）』＝『講釈（こうしゃく）』ともいいます。
講釈で使う道具だから釈台。分かり易く解説することを講釈する
といえますね。江戸の時代、一般庶民の多くは字の読み書きが出来
ませんでした。そこで浪人などの知識人が、昔からある本を面白く、
分かり易く解説（＝講釈）しながら読んで聞かせたのです。これが
講談のはじまり。釈台は本来、本を置くための物なのです。

※実際に「本牧亭」で使われていた、
昭和初期の釈台



釈台の上に本を置いていなくても、一席（演技）の終わりに講談師が
『一席の読み終わりでございます。』
って云うのは、その名残です。



講談師を先生と呼ぶのも、当時では学校の先生みたいなところがあったからです。

張り扇

Q

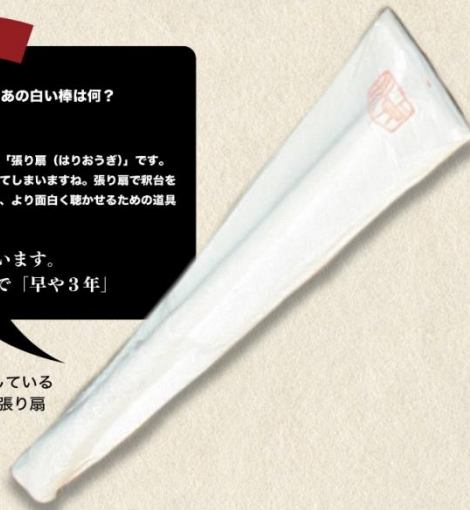
釈台をバンバンと叩いていた、あの白い棒は何？

A

みんなにも作成してもらった、あれが「張り扇（はりおうぎ）」です。ただ読んでいただけではお客様が飽きてしまいますね。張り扇で釈台を叩きながら話にメリハリと調子を付け、より面白く聴かせるための道具なのです。

- 句読点の役割も担っています。
- 張り扇、ボンと一打ちで「早や3年」

※ 貞水が使用している
（作成した）張り扇



講談師は自分の声の高さや、質に合わせて、
自分で張り扇を作成します。



扇を半分に割り、西の内という丈夫な和紙を巻き付けて作ります。

扇子・手拭

Q

扇子と手ぬぐいは何に使うの？

A

「講談」と並び称される日本の話芸二大話芸といえば「落語」ですよね。落語家さんは程ではないですが、何かに見立てて使います。扇子は・・・広げて「提灯」、構えて「刀」など。手ぬぐいは・・・広げて「本」、そのままで「紙入れ（お財布）」など。



知識ポイント 演出法（語り方）、切れ場、落語との違い

三、講談の読み方（語り方）

昔話「桃太郎」を講談調で聞いてみよう！



講談は講談調といって独特の語り方をします。
七五調を使い話に抑揚を付けながら語ります。
また話の最後に「切れ場」が付くのも大きな特徴です。



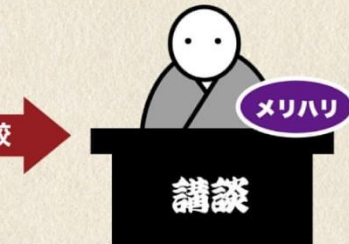
ここでは、他の話芸との語り方と演出の違いを聞き比べてもらいます。
そして講談の語り方の特徴を感じてもらいます。

講談師A(講談) 講談師B(朗読) 講談師C(落語)
3人の講談師が「講談」・「朗読」・「落語」の三役になり実演します。

滑らかで、みんなが
慣れ親しんだ感じですね。



句読点にバンバンと張り扇が打たれ、
話にメリハリがあります。



比較

落語は講談と比べ
さらさらとしやべる感じ、
そして最後にオチ（笑い）がありますね。



品があって桃太郎さんが
とても立派に想像されますね。
そして最後に「切れ場」という
話の締めがありました。
「見事、悪行重ねる鬼たちを
打ち負かしました桃太郎一行（バンバン）～」



比較

四、みんなズバン！バン！

張り扇体験

二、三で講談の演じ方を知っていただきました。
ここでもう一度「三方ヶ原」を観ると
見え方が変わってきます。



最初にご覧いただいた「三方ヶ原」の中で叩かれていた張り扇。

これを全員でチャレンジしてもらいます。

自分で作った「張り扇」を使ってうってみよう！

一人の講談師が「三方ヶ原」を読みながら、キッカケを出します。
それに合わせて、児童生徒さん特製の張り扇でたたきます。

バン



指を1本出したら
張り扇をバン

バンバン



2本出したら
バンバン



バンバンバンバンバン



5本で
バンバンバンバンバン

「三方ヶ原軍記（みかたがはらぐんき）」

バン

ころ げんき
①頃は元龜三年

さる

申年十月十四日①、

バン

たけだだいそうじょうしんげん
武田大僧正信玄は①、

バン

ななえ

七重のならし、

バンバン

ととのえて②、その 勢、

いきおい

三万五千余人②、

バンバン

らいはつ

甲府を雷発して①、

バン

えんしゅうしゅうちこおり

遠州周智郡、

バン

いぬい

乾の城主、

あまのくないざえもんかげつら

天野宮内左衛門景貫①、

あしだしもつけのかみ

芦田下野守の兩人を案内者として①

あんないじや

①

バン

バンバンバンバンバン

いいだ た ら りょうじょう
同国飯田多々羅の両城へ攻めかかる。⑤

知識ポイント 講談のジャンル、演出（語り分け）、脚色

五、講談ジャンルクイズ

講談には「お相撲さん」「お侍さん」「泥棒」など色々な登場人物が出てきます。
「幽霊」なんかも登場します。そして主人公によって読み物のジャンルが分かります。
講談師はそれぞれのジャンルによって、やり方を変えて読みます。（語り分ける）
お相撲さんが活躍する力士伝では、力強く、どっしと。
幽霊が出て来る「怪談物」ではおどろおどろしくなど

映し出された絵（登場人物）がどんな人なのか、
クイズで当ててもらいます。



軍談

合戦を語る。「三方ヶ原戦記」「太閤記」など



怪談物

お化けが出てくる怖い話
「四谷怪談」など



白浪物

泥棒さんが大暴れ
「鼠小僧」「石川五右衛門」など



赤穂義士伝

赤穂浪士の仇討ち



武芸物

剣豪がバッタバッタと大活躍
「宮本武蔵」
「荒木又左衛門」など



政談

大岡越前守などの名裁き
「大島屋騒動」
「水戸黄門漫遊記」など



お家騒動物

家督争いや、権力争いなどの内部抗争
「加賀騒動」「伊達騒動」など



力士伝

お相撲さんたちが登場する話
「寛政力士伝」など



答えが出たところで、
講談師がその有名なワンフレーズを実演して見せます。

「講釈師、見てきたような嘘をつき」と昔から言われています。
講談師は自分が実際に行ったことも、
見たことも無い時代や出来事（話）に「尾ひれはひれ」を付け、
それをリズムカルな講談調で、
荒唐無稽な話をあたかも本当の事のようにしてしまうのです。

講談はこんな風に大げさな脚色をします。

槍をとった清正、ひとつばらいで 10 人、ふたつばらいで 20 人、みっつばらいで 30 人～

見事、扇の的を射抜きました那須の与一、うわーっと上がった関の声はもの凄く、
なんと太平洋を越えてハワイまで轟いたと申します。

知識ポイント 講談はどうやって出来上がるのか

☆、学校エピソード講談 キミの学校のエピソードを 即興で講談にします！

講談師は、取材→脚本→演出→演者を1人で行います！



現代では一話読み切りが多いですが、本来の講談は、
講談師は現地に赴いて、詳しく調べ、それを本におこし、脚色（演出）を加え、
自身で演じていました。『清水次郎長伝』などはそのよい例です。
『講談は嘘と本当の丸木橋』大きく脚色した話に、
本当の部分（距離や景色など）を織り交ぜることで、話に信憑性を持たせるんですね。



こうして
初めから最後まで全てを
一人で行ってしまうのです。



ワークショップ当日の朝、講談師が学校の先生に取材をし、学校エピソードを聞き出します。
その材料をもとに脚本を書き、演出を施し、皆さんの目の前で披露いたします。

身近な校内ニュースを講談調で聴くことで、
興味・関心がさらに広がります。
当日作成のため、学校で起こった旬な出来事をお聞かせ下さい。

実例1 ○年○組の○○君が、柔道の大会で優勝したこと。

火の国熊本柔道大会において 132 / ●年●組、●●君がなんと 132 /
優勝したのであります。132 / 132 / 132 132 /
決勝戦では両者ともしのぎを削る厳しい戦いの上 132 /
勝利を収めた。ここに未来のエースが誕生するのであります。



実例2 飼育係が可愛がっていたウサギが、赤ちゃんを5匹も生んだ。

彩の国さいたまの●●小学校において 132 / ●月●日 132 /
春先の訪れとともに幸せなニュースが舞い込んできました。132 /
皆に愛されているウサギのビョン吉に 132 /
子供が5匹誕生したのである 132 / 132 /
子供たちは皆に愛され、めでたく幸せに暮らすのであった 132 / 132 / 132 132 /



体験

七、

講談にチャレンジ

大きな声で発声

其の一 全員にふる体験！

遠くまで聞こえる声で、ハッキリと読むことが大事です。

背筋を伸ばして正しい姿勢で。大きな声で。

1

講師お手本を見せます。



2

全員で一行ずつ復唱してもらいます。



3

手を挙げた生徒さんに高座でやってもらいます。

我こそは〇〇学校〇年〇組
リフティングにかけては
誰にも負けぬ〇〇(名前)である
我と思わんものは
尋常の勝負におよべ

※セリフをプロジェクターで

ゲーム好きにかけては・・・

メダカの飼育にかけては・・・

など自由に
自分が得意なことを入れます。



※たくさんの生徒さんが手を挙げる、大人気のコーナーです。

体験

八、

講談にチャレンジ

より講談調で発声

其の二 3グループに分かれず
お稽古(体験)！

低学年・中学年・高学年の3グループに分かれてお稽古をします。

3人一組で講談の一説をやってもらいます。

※中学校では学年ごとにグループ分けをします。

低学年

『水戸黄門』

- ・水戸黄門役
- ・助さん役
- ・角さん役

中学年

『義経と弁慶』

- ・義経役
- ・弁慶役
- ・(ト書き)役

高学年

『修羅場』

- ・前半
- ・中盤
- ・後半

各グループで代表の組を選んでもらいます。

代表の組は本公演で発表してもらいます。

次回（後半）は本公演す

九、連続講談（前半）〈海賊退治、はらはら天狗、客本武蔵など〉

講談は本来、連続物といって何席もあるものです。
あえて、面白くなるところで終わり、また次回に繋がります。
現在の、テレビドラマみたいなものです。

※現代はほとんど一席（一話）読み切りで口演しています。

海賊退治

ワークショップ

笹野権三郎という強い侍が風早丸という船に乗る、
瀬戸内海で海賊が現れ船を襲う権三郎バツバツと海賊達をやっつけて行く、
ついに現れた海賊の大将西海灘衛門
「さあこれから権三郎と西海灘衛門の血沸き肉離れ決闘の火蓋が切って格とされる事となる、
ここからが面白い所ですが、残念ながらお時間となってしまいきます。まいます、
この続きは本公演で申し上げさせていただきます。」

続きは本公演で

お楽しみに！

本公演

（軽く前回のあらすじを言ってから）

「さあこれから権三郎と西海灘衛門の血沸き肉離れ決闘の火蓋が切って格とされる事となる、
ここからが面白い所ですが、残念ながらお時間となってしまいきます。まいます、
この続きは本公演で申し上げさせていただきます。」

（決闘のシーン）

「見事、西海灘衛門を倒した権三郎、

おかげでこれより瀬戸内海、勇心にて航行するようになったと申します。

海賊退治大団円でございます。」

おしまい

ワークショップの様子



▲講談ワークショップのスタートです



▲まずは講談を一席



▲解説（座布団について）



▲解説（手ぬぐいについて）



▲解説（張り扇について）



▲張り扇体験。
みんなでバンバン！



▲プロジェクターを使って
講談のジャンルの説明



▲ニュース講談。学校のエピソードを講談にします



▲代表者に講談の発声をチャレンジしてもらいます



▲学年毎などグループに分かれて講談のお稽古



▲各グループの代表者による
発表



▲ワークショップと本公演で
続く連続講談の一席

タイムスケジュール（標準）

タイムスケジュール例 9：00 スタートの場合
会場入り打ち合わせ 7：45～8：00
会場準備 8：00～8：30
入場開始 8：45～9：00
ワークショップ開始 9：00～10：30
打ち合わせ 10：30～11：30
撤収完了 11：30

派遣者数

出演者 3名 スタッフ 1名 計 4名

学校における事前指導

張り扇の作成 ※作り方は事前にお伝えいたします。
全校生徒様対象としております。もしお時間が取れない場合は、発表会に参加する生徒様のみの作成でも可能です。ご相談下さい。

令和4年度文化芸術による子供育成推進事業－巡回公演事業－

本公演実施計画書

制作団体名	有限会社 貞水企画室
公演団体名	有限会社 貞水企画室

演目



講談本公演プログラム
講談〇〇亭
本公演時間 90分
※〇〇には学校名が入ります。

この日、体育館は講釈場になります。



講談最後の定席（講釈場）。本牧亭の様子。

本公演と合わせてお楽しみ



講談ミニ博物館（展示コーナー）

一龍齋貞水所蔵の珍しい
講談グッズを展示



張り扇 貞水が自身で制作し、
使用しているもの



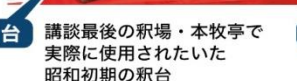
**講談
番付表** 相撲の番付表に
倣い、昭和初期
に作成された物



**火鉢
(手あぶり)** 本牧亭でお客様
に配られていた
小さな火鉢



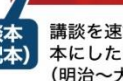
釈台 講談最後の釈場・本牧亭で
実際に使用されたいた
昭和初期の釈台



点取り本 お稽古を受けるときに
自身でポイントを記す本



**講談本
(速記本)** 講談を速記して
本にしたもの
(明治～大正期)





本格的な釈場を再現

講談の興行（公演）が行われている寄席（劇場）を釈場と言います。江戸時代には江戸の各町内にあったそうです。当時、講談は庶民の娯楽の中心にあったんですね。



釈場の運営に参加

児童生徒さんにも半被を着けて、運営をお手伝いしてもらいます。



のぼり等会場の設営、入退場の案内

講談発表会の高座返し
(座布団・メクリをひっくり返します)

プログラム

- 一、 講談入門
- 二、 講談発表
- 三、 連続講談・後半
- 四、 講談
～お仲入り～
- 五、 色物 紙切りなど
- 六、 講談

三、 六、
講談には・・・

上方と江戸

新作と古典

どちらか一席に
怪談話を入れる

など
プログラムにアクセント
を入れ構成します。



さあ！
いよいよ開演です！



講談入門 ～釈場へようこそ～

① ワークショップのおさらい

講談をより楽しく鑑賞してもらえるよう、ワークショップの内容から「張り扇」の叩き方など、演技特徴を中心におさらいします。



② 講釈場の解説

講釈場を再現した雰囲気たっぷりの舞台（高座）の中で、講談専用の劇場（寄席）である講釈場の説明をします。

前座さんのお仕事～

舞台の事を高座って
なんで呼ぶの？

座布団の置き方に
ルールがある！

寄席文字（めくり）
の字の秘密★

③ 本日の番組紹介

本日の番組（プログラム）のご紹介に合わせ、講談界の仕組みを簡単にご説明します。

講談の世界には
「前座」「二つ目」「真打」
と三つの階級があります

江戸と上方
の講談があります

- ◎ 「真打」になると周りの人から「先生」と呼ばれお弟子さんも取れるようになります。
- ◎ 休憩の事を「お仲入り」って言います。その意味。
- ◎ 色物は番組に色を添えるから色物。
- ◎ トリ（最後）とは最後に登場する出演者の事。今日は講談界の看板真打が登場するよ。
- ◎ 江戸と上方の講談の違い。



講談発表会

お稽古（ワークショップ）で
選ばれた代表による発表

ワークショップお稽古した成果をここで見せよう！

3グループの中から
各代表チーム（三人一組）による講談発表



大きな声で、元気よく
講談をやってみよう！



前回（前半）はWSで



連続講談（後半）

〈海賊退治、はらはら天狗、客本武蔵など〉

※勢いのある若手講談師の講談で元気にスタート！

講談の本来の姿であり醍醐味である連続物を、
ごくごく短い読み物で再現

ワークショップ
(前半)



本公演
(後半)

さす、いふいふ
相まみえる事になりました二人





四、講談

こわい怪談や、にぎやかな上方講談などを、
お楽しみください。
一龍斎貞友 演目「ゆきんこ十二郎」など



お仲入り (休憩)



休憩中は展示を見たり、体験高座でお楽しみいただけます。

五、

色物

びっくり仰天！

妙技の数々を楽しみもう

紙切り、曲こま、曲芸など「目」でお楽しみいただきます。



六、

講談

トリには、看板真打ちの登場
宝井琴星 演目「村越茂助左七文字」など



主な出演者

江戸（東京）



宝井夢梅



一龍齋貞花



一龍齋貞心



宝井夢星



宝井夢調



一龍齋春水

(アニメの声優でもおなじみ)



一龍齋貞友

(アニメの声優でもおなじみ)



田辺凌鶴



一龍齋貞橘



神田春陽



田ノ中星之助



一龍齋貞寿



神田山緑



宝井梅湯



宝井夢鶴



神田鐘花



田辺銀造



一龍齋貞鏡



田辺いちか



田辺陵天

上方（大阪）



旭堂南左衛門



旭堂南麟



旭堂南満



旭堂南湖



旭堂山南陵



玉田五秀次



旭堂南龍



旭堂南岳



旭堂南斗



旭堂南照

色物



林家正楽

<紙切り>



林家二楽

<紙切り>



三増欽之助

<曲こま>



柳貴家雪之介

<大神楽曲芸>



鏡味味千代

<大神楽曲芸>

派遣者数

出 演 者： 6～7名
スタッフ： 4～5名
合 計： 11～12名

タイムスケジュール（標準）

前日仕込み(有 ・ 無) 会場設営の所要時間(3 時間程度)

到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出
9 時	9 時～12 時	13時30分～15 時	10 分	15 時～17 時	17 時

※本公演時間の目安は、午後1時乃至2時からの概ね2時限分程度です。

※基本的には午後公演ですが午前公演希望の場合、前日仕込みをご依頼する場合がございます

※会場の構造により、片付終了が遅くなる可能性があります。

実施校への協力依頼人員

●特にありません。

演目解説

これからの日本を担う子供たちに、講談を知っていただきたい・・・

学校の先生方へ

「講談」は「講釈」と呼ばれていました。それは江戸時代、字の読み書きが出来なかった庶民の人たちに、浪人などの知識人が「太平記」などの歴史の本を解りやすく解説を交え、そう講釈をしながら読んで聞かせていたからです。

講談師が前に置く小机＝釈台には本来、本を置きます。今でも演目の事を「読み物」と呼び、講談師(真打)を呼称して「先生」というのは、その当時の名残なのです。講談師の祖先は、今の学校の先生みたいなものだったのです。

それが徐々に演芸として発達してゆきます。すると読み物は脚色が加えられ、話にメリハリを付けるために「張り扇」を叩いたりして、聞き手(お客様)が飽きないよう様々な工夫が成されました。

こうして講談は時代、時代の人々に愛され、今に繋がれて来ました。

講談には、日本人が持つ先人からの知恵、人を思いやる道德心、そして日本語の美しさがあります。

「風化しつつある大切なこと」・・・講談を通して学んでいただけます。

～講談から実際にこんなことが学べます～

- ・言葉の大切さ(相手に伝わる話し方)
- ・人と人との交わり方(友達・親子・先生と生徒)
- ・目上の人との接し方や、言葉の使い方
- ・面倒を見るということの意味(弱者や困っている人を助けること)
- ・作業も工夫をすれば、こんなに早く終わる などなど

このプログラムを通して講談を知っていただき、「また観てみたい、聴いてみたい」と思っただけで幸いです。

児童生徒の公演への参加方法、公演に参加させるための工夫

- ワークショップでは体験を随所に織り交ぜています。
またクイズ形式で問いかけながら生徒さんと一体となって進行してゆきます。
- ワークショップでは全員がお稽古できる仕組みになっています。
⇒そして代表の生徒さんが本公演で発表。

児童生徒とのふれあい

- 係として公演の運営を、一緒にお手伝いいただきます。
会場係(10名程度)＝会場のご案内
前座係(3名程度)＝講談発表会の高座返し(座布団をひっくり返す)